地域応援団

ボランティア・福祉通信　～むろみん 紙面提供コーナー

室蘭市町内会連合会
ふれあいだより

〒051－8511
室蘭市幸町1番2号
電話　0143・83局6277番
ファクス　0143・83局6912番
メール　muroran-sityouren@able.ocn.ne.jp

会場、オンライン併用で実践報告

ブロック別町内会活動研究大会

オンライン視聴会

10月18日、北海道町内会連合会主催による「2022年度（令和4年度）ブロック別町内会活動研究大会」が開催されました。

昨年度はオンライン開催で行われましたが、本年度は会場参加（札幌市）とオンラインの併用方式での開催となりました。

札幌会場には沼田会長、小林副会長、北田事務局員が参加しました。地元室蘭においては初めての試みでしたが、FKホールディングス「きらん」の研修室でフリーWi－Fiを使い、札幌会場とのオンライン視聴会を開催しました。市町連の理事10数人が参加し、Wi－Fiの接続もスムーズにでき、映像も途切れることなく視聴することができました。

今年度の活動研究大会は実践報告として、初めに恵庭市の「北柏木町内会」の玉熊会長と梶浦副会長がテーマ「防災さんぽ」と題して、災害時の家族の役割分担の確認や、家族単位での自宅から避難所までの避難経路確認を「さんぽ」しながら実施したとの報告があります。次に札幌市東区「東雁来ひかりの町内会」の川北会長から「子育て世代が一から町内会を立ち上げ」とのテーマで、当初新興住宅地で町内会が無かったため、地域のごみステーションの管理や除排雪の問題、青少年の育成、情報共有のための回覧板、親睦交流などといった課題解決のための町内会の設立がどうしても必要と考え、現会長が町内会設立準備委員会を立ち上げ2017年4月に町内会設立に至った経緯を報告されました。

最後に「災害に対する地域での備え」とのテーマで、命を守る大切さを語りつなぐ代表者・北海道防災教育アドバイザーの三浦浩氏の講義がありました。自身が高校生の時に起きた北海道南西沖地震の津波から逃げることができた実体験を赤裸々に話され、災害から命を守る方法や災害時の地域での備えについて話されました。

（室蘭市町連　事務局長　渡部信人）

はしご車試乗 浜崎氏の講演 防災フェスタ 大盛況

大盛況の消防イベント

10月22日、FKホールディングス生涯学習センター「きらん」において、「室蘭市消防・防災フェスタ2022」が開催されました。

当日、午前10時の開会式では小泉副市長からあいさつがあり、駐車場においては消防はしご車試乗体験、煙体験、地震体験、防火衣着装体験、放水体験などを実施。天候にも恵まれ子ども達にも大盛況で、特にはしご車の試乗体験には列を作って順番待ちをしていました。屋外においては延べ400人ほどが来場しました。

館内においては企業・団体による防災展示や体験コーナーがあり、午後2時からは「防災講演会」を行い、初めに「東日本大震災の記憶」と題してオンラインで宮古市危機管理課長の山崎氏による講演、引き続き「最近の胆振地方の気象状況」とのテーマで、気象予報士・防災士でもあるテレビでおなじみの浜崎慎二氏による講演がありました。講演会には約60人の参加がありました。

最後に室蘭市町内会連合会の沼田会長よりあいさつがあり、盛況の内に全て終了することができました。

（室蘭市町連　事務局長　渡部信人）

気象予報士の浜崎慎二氏による講演

あいさつをする室蘭市中野課長

活発な意見交換

地区懇談会 災害発生に備え意見交換

室蘭市町内会連合会では、地区連合町会ごとに実施する「地区懇談会」について、ここ2年ほど新型コロナウイルス感染拡大により実施できないでおりましたが、港北地区連合町会が11月4日に港北ふれあいセンターにおいて、地区連に加盟している6町会および各種地域団体・蘭北小学校・港北中学校などの計10団体と市の防災対策課や高齢福祉課、地域生活課など合計37人が参加し、今後予想される千島海溝・日本海溝沿いの巨大地震、また近年多発している大型災害を踏まえ、災害に対する意識の向上と地域の連携を図るため「災害発生時に備えた地域体制の構築について」をメインテーマとして、日ごろから災害発生に備え、地域としてどうあるべきなのかを話し合いました。

サブテーマとして掲げた4項目の意見交換では、1.「避難誘導時の各団体との連携について」は、地域町会と各団体との連携を強化することが必要であるとの意見が出ました。2.「災害発生時における情報伝達の共有について」は、災害時の情報伝達手段と方法についての意見がありました。3.「高齢者等の支援体制・方法について」では、要支援を必要とする方への支援体制をどのように進めるのか。日ごろから隣近所との友好のもと災害発生時は「声かけ」や「避難誘導」などによる避難体制を確立する必要がある、などさまざまな意見がありました。4.「避難状況（各自宅）の確認体制と確認方法について」では、避難状況の確認、自宅に取り残された人に対する確認をどのようにするかなど活発な意見が出されました。

今後も各種災害に応じた避難場所の周知、避難手順、避難訓練などを随時行い、減災に取り組むことを再認識することができました。

（港北地区連合町会　会長　須田貞文）

第3回自治会活性化推進会議

加入率向上へ議論

近年、地震や台風などの自然災害、子どもや高齢者が被害者となる事故・犯罪が多発しています。こうした社会の中で、地域コミュニケーションの中心となり、人々の支え合い、見守りなどを担っている町内会、自治会の存在が重要視されています。しかしながら、町内会・自治会の加入率は1988年の94・5％をピークに減少が続き、2020年度には60％を割り込んでいます。

こうした状況から、あらためて町内会・自治会の必要性を認識しながら加入率向上に取り組んできた室蘭市町内会連合会ですが、なかなか結果を出せないでいました。そこで、行政と一体となって市民の声を聞きながら、町内会・自治会の加入率向上と活性化を進めることを目的とした『町内会・自治会活性化推進会議』を市が発足させました。

この会議は同町内会連合会をはじめ、企業、まちづくり、福祉、教育（市P連）、市民公募、行政などの関係者22人のメンバーで構成されています。

4月下旬に第1回の会議が行われ、7月に続き10月に3回目の会議が行われました。3回目の議事内容は①アパート・マンションにおけるコミュニティーの活性化②地域コミュニティーを支える取り組みの広がり③条例制定等による活性化の取り組みについて、などを議論しました。

また10月に制定したばかりの「札幌市未来をつなぐ町内会さえあい条例」についての内容を地域生活課から、町内会・自治会の加入率向上と活性化につながる参考資料として説明を受けました。

本会議の委員は、地域コミュニティーの核となる町内会・自治会活動が広がることを願って、さまざまな観点から話し合いを深めています。

（室蘭市町内会連合会常任理事　田村博文）

自治会活性化の取り組みについて議論する3回目の会議

来月20日シンポジウム「参加を」

近年、超高齢化社会の進展や共働き世帯の増加、地震や台風などの自然災害の増加などに伴い、高齢者や子どもの見守り、災害時の助け合いなど地域住民相互の支え合いが必要な場面が増えており、さまざまな地域課題の解決や良好な環境の維持のためには、町内会・自治会の役割がますます重要となっています。こうしたことから、町内会・自治会の現状や課題、今後に向けて必要な取り組みなどについて、町内会・自治会、地域住民、関係団体および市がともに共有し、考えて行くことを目的に下記の通りシンポジウムを開催します。

「町内会・自治会の未来を考えるシンポジウムｉｎ室蘭」
- ●開催日時…令和4年12月20日（火）　午後2時から。
- ●開催場所…室蘭市市民会館ホール（室蘭市輪西町2丁目5番1号）
- ●基調講演…「多様な住民による〝まち育て〟～住み良いコミュニティを目指して～」　講師　鈴木克典氏（北星学園大学経済学部教授）
- ●パネルディスカッション

テーマ　①町内会・自治会の活性化と市民協働のまちづくり
②町内会・自治会が防災・減災に果たす役割
③町内会・自治会の未来を考える

※参加無料となっていますので、どなたでもご自由に参加してください。

功労者表彰式

森川副会長たたえる

表彰を受けた森川副会長（前列中央）をたたえる記念写真

表彰状を受け取る森川副会長（左）

11月3日、室蘭プリンスホテルにおいて、2022年度の室蘭市功労者表彰式が行われました。本年度は7人が各分野から表彰されましたが、室蘭市町内会連合会の森川卓也副会長が地域自治を代表して表彰されました。

森川副会長は2000年から山手町見晴町会の会長として、地域コミュニティーの形成に尽力され、2001年からは自宅で「庭のお休み処　心のふるさと峠の茶屋」を開き、旅人や地域住民の交流の場として提供、長きにわたって地域コミュニティーの活性化に多大な貢献をしています。

また、地球岬街道夢の森づくりの会、蘭西七町地区子どもを守る安全推進協議会、蘭西七町連合会自主防災会については会の立上げから代表を務めており、室蘭市町内会連合会においては12年に理事、13年から18年までは常任理事、19年から今日までは副会長として市内の町内会全体をけん引する存在として活躍されています。

市の各種委員会等の委員としては、室蘭市行政改革推進委員会副会長、室蘭市都市計画審議会副会長、室蘭市ごみ処理・リサイクル事業あり方検討委員会副会長、室蘭市町内会・自治会活性化推進会議座長など、多分野において地域の代表として助言され、市政の発展に寄与されています。

（室蘭市町連　事務局長　渡部信人）